



実行委員の皆さん

高木慎也先生がサプライズ登場



晴れ姿を撮影する保護者の皆さん



保護者の皆さんも一緒に1枚



二十歳のつどい

PHOTO GALLERY



二十歳のつどいが、1月7日に文化会館で開かれ、今年度20歳を迎える114人のうち97人が出席し、新たな門出を祝いました。

実行委員会が企画・運営を行い、恩師からのビデオレターを上映するなど温かみのある式典となりました。

出席者の皆さんは仲間との再会を喜び、近況を報告しあったり思い出話に花を咲かせ、今後の人生に向け決意を新たにしました。



恩師からのビデオレターを上映

Reflect on past events

20年前の出来事
～2003年(平成15年)～

【国内編】
地上波デジタル放送始まる
「世界に一つだけの花」が大ヒット
朝青龍がモンゴル出身初の横綱に昇進

【町内編】
ふるさと農道(白倉地区)開通
「カインズスーパーセンター」オープン



二十歳のつどい

金井怜奈さん

家族や先生方、地域の

域の方々が時に厳しく、時に優しく見守ってくださったおかげで、私たちはここまで成長することができました。これまで与えていただいたことに対する感謝を胸に、これからは行動で応えていきたいと思っています。

それぞれが活躍できる場で、自分自身の役割や責任を担える、そんな人間になりたいと思っています。まだまだ未熟な私たちですが、人のために力を注ぐことができる存在になりますので、これからも温かく見守ってくださいとつれいす。



中野 朗さん

「今まで育ててくれた両親や地域の方々に感謝し生活していきたいです。また多くの方の役に立てるように行動していきます」



倉林樹恵さん

「二十歳としての自覚を持ち、自立した大人な女性になれるよう努力していきたいです」



花島央雅さん

「多くの人の支えを受け二十歳になれたことに感謝し、還元していけるよう、言葉・態度などで自分の生き方を示したいと思っています」



中島 茉梨乃さん

「勉強も部活動もバイトも、どれも手を抜かず充実した毎日していきたいです」

8人に突撃インタビュー!

二十歳の誓い



堀口花道さん

「ここまで支えてくださった家族や地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、自分にできることを精一杯がんばります」



山田 楓さん

「二十歳として自分の行動に責任を持ち、人のために力を使えるよう自己研磨に努めたいと思います」



大河原 一貴さん

「二十歳を機に人として成長し、周りの人に感謝を伝えられるような大人になりたいです」



久保田 凜さん

「大人として自覚を持った行動と何事にも挑戦し悔いのないよう、そして感謝の気持ちを忘れず自律した二十歳になるよう努力します」

実行委員長

次のランナーへ ～タスキに込めた想いとともに～



多年出場者賞 (10回以上出場者を紹介・敬称略)



- ◎15回出場
野口 剛(22区)
- ◎10回出場
田村 守(6区)
- ◎5回出場
9人



社会体育功労者などを表彰

長年にわたり社会体育などで功労のあった町体育協会役員・選手、令和5年中に各種大会において好成績を収めた選手・団体の表彰式が1月1日、文化会館で行われました。

受賞された皆さんを紹介します。(順不同、敬称略、カッコ内は種目)

◎社会体育功労者

小澤由佳利



◎スポーツ功労者

池田正夫 小林久美子 中重奈緒 黛 誠一
浅香種次 篠原直美 三木啓子 青木真澄



スポーツ功労者

◎年度優秀選手

(陸上) 落合優希奈 佐藤李音 諏訪沙枝
(水泳) 三浦玲央 (トライアスロン) 小暮颯基
(ソフトテニス) 大河原 兜 森平蓮心
(空手道) 茂木煌気 齊藤 凜 林 心優 林 愛莉
(ハンドボール) 古舘賢人 長谷川明義 八木正輝
佐藤大稀 松井心翔 田中律輝 松井怜俐
高麗姫禾 熊井戸美佑 熊井戸結彩 松井友亮
畑中涼志 長岡倭真士 吉田蓮翔

◎年度優秀団体

あすなるジュニア(バレーボール)
甘楽中学校女子バレーボール部
甘楽中学校男子ソフトテニス部
甘楽中学校女子ハンドボール部
甘楽中学校女子水泳部
Kanra JHS(甘楽中学校サッカー部3年・フットサル)



年度優秀選手

新春の風物詩! 「声援」背に力走



清水 択真選手 (前年優勝7区)

生まれ育った甘楽の地を走れる喜びと感謝の気持ちを持って最後まで諦めない走りをすることを誓います。

令和6年の幕開けを飾る「第65回甘楽町駅伝競走大会」が1月1日に行われ、14チームが出場し町内1周8区間33.7kmを1本のタスキでつなぎました。

大会結果の詳細は、町ホームページをご覧ください▶



各区間の1位~3位の皆さん

7区Aが3連覇!!



29回目の優勝を喜ぶ7区Aチーム

森田 稔監督のコメント

「選手たちの努力の成果が出てうれしく思います。大会役員の方など多くの人の協力で大会を無事に終えることができ感謝申し上げます」

初日の出マラソン

駅伝大会スタート後には、小学生60人による初日の出マラソン(低学年1000m・高学年2024m)も行われ、元気いっぱい2024年がスタートしました。



小学校高学年の部

| クラス | 順位 | 氏名 | 所属 |
|-------|----|-------|-----------------|
| 低学年男子 | 1 | 小暮颯基 | 新屋小学校 |
| | 2 | 吉田啓悟 | 群馬ジュニアハンドボールクラブ |
| | 3 | 堀口大翔 | 新屋小学校 |
| 低学年女子 | 1 | 宮前陽菜子 | 福島小学校 |
| | 2 | 齋藤穂乃 | 福島小学校 |
| | 3 | 反町華笑 | 福島小学校 |
| 高学年男子 | 1 | 齋藤暖真 | 福島小学校 |
| | 2 | 吉田煌雅 | 群馬ジュニアハンドボールクラブ |
| | 3 | 伊藤颯汰 | 福島ガッツ |
| 高学年女子 | 1 | 山田りな | 新屋小学校 |
| | 2 | 谷川絢香 | 新屋小学校 |
| | 3 | 吉田真子 | 新屋小学校 |

上位者(敬称略)



小幡小学校の取り組み

明るく元気な小幡っ子

学校教育目標の「かしこい子」「やさしい子」「元気な子」の実現に向けて、勉強や運動を頑張っている各学年の児童の様子を紹介いたします。

小幡小学校
校長 左近 晃志
児童 146人



小幡小ホームページ

「教育のひろば」とは
各学校の特色ある取り組みを紹介するコーナーです。編集委員は、教育委員会の広報委員会に所属する各学校の教員です。

一年生

楽山園はたのしいな

高野 まる

こいにえさをあげたよ。まつぼっくりをひろったよ。グループでにわを見てまわったよ。春夏秋冬の四がいいて、たのしかったよ。

たのしかったおばた小あきランド

森田 のの

がつきやで、大きいあきかんのたこと、どんぐりのばちをつくったよ。大きい音がしたよ。えんじのみんながよるこんでくれてうれしかったよ。



生活科で楽山園へ行って楽しかったよ

一年生



三年生の思い出

清水 和音

三年生の思い出は、校外学習に行ったことです。校外学習では、歴史博物館と、ガトーフェスタハラダに行きました。歴史博物館では、昔のことをくわしく知れました。それにお母さんのおべんとうも食べました。その後、ガトーフェスタハラダ



人権の花を育てたよ

楽しかったさつまいもほり

田村 あかり

十一月に、さつまいもほりに行きました。ワクワクしてほってみると、大きなさつまいもがたくさんあって、びっくりしました。ふくろにたくさん入れてもってみると、すごくおもしろくていへんでした。家にもち帰って、スイートポテトややきいもにして食べました。すごくおいしかったです。



運動会みんなでポーズ!

に行ったらスクの工場見学をしました。いい思い出ができて良かったです。

四年生



六年生の思い出

羽鳥 菜花



がんばった運動会!

がんばった持久走記録会

羽鳥 菜花

十一月二十一日に持久走記録会がありました。今年からは記録会になったので、いつもよりきんちょうしました。でも、自分のペースで気持ちよく走れたのでよかったです。記録は練習よりものびたので、すごくがんばったなと思いました。来年もがんばりたいです。

提言

地域とともに



小幡小学校
校長 左近 晃志

校長室前の廊下には「オバタスマイルサポーターズ(以下OSS)」の象徴である「スマイルくん(仮)」と、サポーターズの皆さんの顔写真(名前入り)が掲示してあります。この「OSS」は、今までの支援ボランティアとしてお世話になっている地域の皆さんのことを、児童の皆さんにもっと身近に感じてほしいという想いから立ち上げました。今日は読み聞かせだ。だれか来てくれたな。から、今日はサポーターの○○さんだ。とか、町ですれ違ったときに「サポーターの○

○さん。この間はありがとう。』といえる関係になってほしい。すぐには難しいかもしれませんが。少しずつ。小幡「小」サポーターズとしなかつたのは、「われわれは、サポートされるだけの存在ではない。自分たちも、小幡の人をスマイルにできるサポーターでありたい」という児童の想いからでした。今は、小さな存在でしかないかもしれませんが、でも、その小さな存在も、たくさん集まれば大きなエネルギーになるはず。やがては、この町の未来を明るく輝かせてくれるかもしれません。

この町を元気ある町にしたという想いから、PRのためのCMづくりにチャレンジしている児童もいます。皆さまさまざまなことにチャレンジする児童を「オバタスマイルサポーターズ」として私たち職員と一緒に応援してください。子どもたちは、きっとその応援に応えてくれると思います。

五年生



五年生の思い出

堀込 彩光

私の五年生の思い出は、初めての宿泊学習です。なぜなら、クラスみんなでお泊りをするなんて初めてだし、新屋小と福島小のみんなと会うのが楽しかったからです。ほんの子がみんな初めて会う子で、小幡小の子にずっとくっついてたけれど、みんなで遊んでいたらチームワークも深まり、仲良くなりました。中学校で会うのが楽しみです。

六年生



達成感

落合 紗季



笑顔が似合うんだよな～

六年生になって初めての経験。それは、児童会での校内ラジオ放送「憩いの場」を作り上げたこと。最初は皆の意見がなかなか合わず、内容を決めることが難しかった。しかし、仲間からの褒め言葉。優しさ。さらには全校からの協力。それらが支えになり、見事校長先生の許可をもらうことができ、放送がスタート。「今日もやってきました、憩いの場です!」私が達成感をかみしめた瞬間だ。

協力したウォークラリー



頑張った運動会